

## 令和7年6月 定例教育委員会

日 時 令和7年6月26日（木）15時00分～

場 所 市役所5階 庁議室

出席者

（教育委員）

松野教育長職務代理者 古賀委員 中村委員 西沢委員

（事務局）

鳩山学校教育部長 木下学校教育部次長兼学校教育課長 稲葉学校教育部次長 藤川  
学校教育部次長兼学校保健課長 徳永総務課長補佐兼庶務係長 黒木総務課係長 田  
村社会教育課長 船本社会教育課長補佐 大田学校保健課副主幹

欠席者 陣内教育長 井上教育総務部長 溝口総務課長

傍聴者 なし

内 容

(1) 令和7年4月分 議事録確認

(2) 議 題

- ① 令和7年度（令和6年度活動）自己点検及び評価（内部評価）の件（総務課）
- ② 令和7年度（令和6年度活動）自己点検及び評価（内部評価）における外部委託の件（総務課）
- ③ 佐世保市社会教育委員選任の件（社会教育課）
- ④ 令和7年度「全国学力・学習状況調査」等における佐世保市及び各校の結果の取扱いについて（学校教育課）

(3) 協議事項

なし

(4) 報告事項

- ① 令和7年度佐世保市少年の主張大会について（社会教育課）
- ② 令和7年度佐世保市中学校体育大会の結果について（学校保健課）

(5) その他

- ① 次回開催予定について

## (1) 議事録確認

### 【松野職務代理】

陣内教育長が別の対応ということですので、佐世保市教育委員会会議規則第1条に基づきまして、私が職務を行います。よろしく願いいたします。

それでは議事録の確認です。議事録について修正等ございませんでしょうか。

### 【全教育委員】

はい。

### 【松野職務代理】

ありがとうございます。

それでは議題①「令和7年度（令和6年度活動）自己点検及び評価（内部評価）の件」に入ります。事務局より説明をお願いします。

## (2) 令和7年度（令和6年度活動）自己点検及び評価（内部評価）の件

### 【徳永総務課長補佐】

議題資料P1および別添資料により説明

### 【松野職務代理】

ただいまご説明がありましたが、詳しい内容につきましてはお手元に、別冊で「佐世保市教育委員会における自己点検（内部評価）について」という書類が届けられているかと思えます。委員の皆様におかれましては、この件につきまして、実際にご覧になったうえでご意見やご質問等がございましたら、よろしく願いいたします。特にご意見等がございますか。

### 【全教育委員】

ありません。

### 【松野職務代理】

私の方から一点申し上げます。小さなことですが、7ページに関してです。教育委員の会議以外の活動状況についてですが、会議の最初の部分に、「九州地区市町村教育委員会連合会総会」の次に「研修大会」とあります。しかしながら、隔年開催ですので昨年は研修大会を行っておりませんので、そこを削除していただきたいと思えます。よろしくお願

いします。

他に委員の皆様で何かお気づきの点などございませんでしょうか。

**【西沢委員】**

評価シートを見させていただき、ありがとうございました。

1点確認させていただきたいのですが、これはすべての部分に共通することかと思いますが、解決策と効果について書き出してくださっている中で、今年度中に進捗の確認を行ったり、例えば解決策として試みたことに対し、どのような難しさを感じるかといった、それぞれの現場の声を拾う機会を、この教育委員会全体で設ける予定はあるのでしょうか。それとも、各課ごとに実施し、年度の終わりに最終的に確認を行うという形なのでしょうか。そこを教えていただければと思います。

**【松野職務代理】**

今の件につきまして、いかがでしょうか。これまでは基本的に各課で実施され、年度終わりに処理を振り返り、チェックしたうえで自己評価を行っておられたと思います。

しかし、年度途中で私たち教育委員がその進捗状況を伺う機会などは用意されているのでしょうか。いかがでしょうか。

**【鳩山学校教育部長】**

今の整理から説明がありましたように、2名の方々から総括的な指導をいただき、その時点で振り返りと改善を図ることになるかと思います。そのため、各課の状況に合わせた進捗報告は、現段階では予定されていないのではないかと思います。以上です。

**【松野職務代理】**

よろしいでしょうか。

**【西沢委員】**

それぞれの課では、事業内容や課題、また解決策が多岐にわたっており、その量が多いと感じています。これを全て完璧にこなすにはかなりの努力が必要だと思います。そこで、状況だけでも把握しておけば、例えば総合教育会議の議題として提案するなど、何かしらのお手伝いのできれば良いと考え、質問させていただいた次第です。ありがとうございました。

**【松野職務代理】**

他にご意見はございませんでしょうか。

実際、昨年度の分と比べると、かなりご苦労された様子がうかがえます。中身を成果と課題にきっちり分けて書いていただき、その課題についても原因や解決策、効果を含めてまとめておられました。

昨年度も、それ以前と比べて評価がかなりわかりやすい形で示されていましたが、さらに理解しやすくなっていると感じています。

他にご意見がないようですので、この議案について承認することよろしいでしょうか。

【全教育委員】

はい。

【松野職務代理】

どうもありがとうございました。本当にお疲れ様でした。

それでは議題②「令和7年度（令和6年度活動）自己点検及び評価（内部評価）における外部委託の件」に入ります。事務局より説明をお願いします。

### **（3）令和7年度（令和6年度活動）自己点検及び評価（内部評価）における外部委託の件**

【徳永総務課長補佐】

協議資料P2～P3により説明

【松野職務代理】

ただいま事務局より説明がありましたとおり、外部評価の委員としてご推薦いただいたお二方が挙げられています。それぞれ4年目と3年目を迎えているお二人の推薦、外部委託についてですが、委員の皆様、ご意見等ございますでしょうか。

【中村委員】

ご説明ありがとうございます。この推薦いただいているお二方については、人選には申し分ないと考えております。

ただ、具体的にこの外部評価のお願いの仕方について教えていただきたいです。具体的には、どのような形でお願いをして、どのようなプロセスを経て、どのようなフィードバックをいただいているのか、詳細を教えてくださいませんか。

【黒木総務課係長】

議決をいただいた後に、推薦されたお二方と直接お話しし、今回の内部評価についての説明を全て行います。その後、約1ヶ月をかけて外部評価をお願いし、総合的な評価をいただきます。この評価をそのまま外部評価として提出していただきます。そして、提出された外部評価と内部評価を合わせて、佐世保市教育委員会の自己点検として完成させます。

最終的に、8月の定例教育委員会で、皆様に議題としてお示しできればと考えております。このような流れで進めていきます。

【中村委員】

先ほどの西沢委員の質問と重なるかもしれませんが、各担当の部署に対して、どのようなフィードバックがされており、それがどのように活用されているのかについても、お示しいただければと思います。

【黒木総務課係長】

いただいたご意見については、総務課が意見を集約します。その後、自己点検を完成させる際に、教育委員会内で検討・協議を行います。そして、次年度の予算を作成する際に経営方針を策定しますが、その中でいただいたご意見を反映させるようにしております。

【中村委員】

ありがとうございます。一部だけ見ても、例えば奨学金の額が小さいため、本当はもっと大きくしないと現状では全然足りないという意見もあるかと思えます。

ただ、全体の予算のバランスなども考慮しなければならないと思います。せっかくの外部評価を生かし、次につなげていけることを願っています。よろしく願いいたします。

【松野職務代理】

他にございませんようでしたら、この議題について承認するという事でよろしいでしょうか。

【全教育委員】

異議ありません。

【松野職務代理】

ありがとうございます。

それでは続きまして、議題③「佐世保市社会教育委員選任の件」に入ります。事務局より説明をお願いします。

#### (4) 佐世保市社会教育委員選任の件

【田村社会教育課長】

協議資料P4～P5により説明

【松野職務代理】

ただいま、社会教育委員の選任について、新しく永吉委員が提案されています。これは、曾和委員が退任されたことに伴うものですが、この件につきまして、何かご質問やご意見はございませんでしょうか。

【古賀委員】

選任に異議は特にありませんが、他の会議でもジェンダーバランスについての意見がよく出ていますので、その点を考慮していただければと思います。

特に先ほどの外部評価に関連して、もう少し考慮したうえでの選任を今後行っていただければ嬉しいです。以上です。

【松野職務代理】

ジェンダーバランスを考慮した選任についてですが、今のところ、社会教育委員の選任は、佐世保市PTA連合会の顧問や会長から選ぶ形になっているようです。例えば、現状では顧問の方が退任された後に、次は会長がその役を引き継ぐという流れになっているのでしょうか。そのような特定の役職から選ばれる方法が基本的な方針なのでしょうか。

【田村社会教育課長】

先ほどの資料の5ページにある名簿では、区分という項目が条例上の区分を示しています。そして、資料の中ほどに推薦団体について書かれていますが、佐世保市PTA連合会の代表として推薦をいただくことが、社会教育関係者としての慣例となっています。

例えば、前任の曾和顧問は顧問という立場でしたが、その前の佐世保市PTA連合会の代表としては会長が推薦され、委員を務められていました。この推薦にあたっては、推薦依頼を行った際、どなたを推薦いただくかについては、推薦団体に一定の裁量を委ねているのが現状です。

【松野職務代理】

もし佐世保市PTA連合会の会長が女性であった場合には、その女性会長が推薦され、この中に入る可能性も当然あると考えてよろしいですか。

【田村社会教育課長】

おっしゃる通りのご認識でよろしいかと思えます。

【松野職務代理】

ありがとうございます。

他にご質問、ございますでしょうか。特にないようでしたら、この議題について承認するというところでよろしいでしょうか。

【全教育委員】

異議ありません。

【松野職務代理】

それでは続きまして、議題④「令和7年度「全国学力・学習状況調査」等における佐世保市及び各校の結果の取扱いについて」に入ります。事務局より説明をお願いします。

## （５）令和7年度「全国学力・学習状況調査」等における佐世保市及び各校の結果の取扱いについて

【木下学校教育課長】

議題資料P6～P10により説明

【松野職務代理】

ご説明ありがとうございました。

学力検査について、本市全体の結果や各学校の結果の取り扱いについての提案ということですね。佐世保市教育委員会による公表と、各校による自校結果の公表が提案されていますが、この件について、ご質問やご意見はございませんでしょうか。

【西沢委員】

ご説明ありがとうございます。

7ページの1の（1）の①、公表内容の一番下にある「結果分析を受けた本市の課題及び指導重点内容」についての質問です。この内容を公表する前に、一度審議する時間を設けることは可能でしょうか。

点検評価シートを振り返ってみると、学習意欲の向上が課題として挙げられている一方で、内部評価の17ページに基礎学力の向上についてあまり言及されていないことが気になっています。ですので、公表にあたって、意欲と基礎学力の向上の両方の軸で出したほうが良いのではないかと考えました。もし可能であれば、指導重点内容や課題について公表する前に一度、我々にも情報を共有していただくと大変ありがたいです。この点について質問させていただきました。以上です。

【木下学校教育課長】

可能でございます。ぜひ、ご意見を賜ることができればと思っておりますので、よろしくをお願いします。

【中村委員】

ご説明ありがとうございました。

公表に関して、原則として学校別に結果は公表しないとされていますが、7ページの2の(3)にあるように、校長の判断により公表が可能とされています。公表する場合、具体的にはどのような内容まで公表されるのでしょうか。

また、これまで、公表した学校はどのくらいあるのでしょうか。

【木下学校教育課長】

実際に公表する内容については、基本的に文章で全ての学校が公表を行います。ここには分析なども含まれます。

ただ、最も話題になるのは数値的なデータだと思います。例えば、国語や算数・数学の全国平均に対する達成度や達成率、また児童生徒質問調査による自己肯定感に関する項目などもあります。これらの項目では、4段階評価の上位2つに肯定的な回答をしている割合などが論点になるかと思います。

実際に学校が数値を公表する場合は、教育委員会事務局との相談のうえで行われることになっており、各学校へはその旨の周知がなされています。

昨年度の公表状況については、把握している限りではありませんでした。しかし、これまでの実際の事例として、相談のうえで公表した学校は存在しました。当時、私が小学校に関わっていたため、小学校についての情報しか持っていませんが、その際は1校が公表を行っていたと記憶しています。

【中村委員】

非常に気を使われるところだと思いますし、さまざまな配慮がされたうえで今の状況になっていることは理解しています。

以前、ある公立高校の校長先生とお話しする機会があり、やはり基礎学力が昔に比べて低下しているというお話を伺いました。その校長先生からは、教育委員会として先生方にもっと何とかしてほしいという切実な要望をいただきました。

公表するかどうかは直接の解決策になるかは別として、高校や大学、社会に出た際には守られる側ではなく、実際に評価される立場になります。そのため、せつかく測定しているものがきちんとフィードバックされ、活用されることが重要だと思います。

もちろん、特定の生徒が不利になるようなことは避けるべきですが、すべてを隠してしまうと、調査が励みにならないなどの問題も考えられます。

この点について、慎重な検討と適切な対応をお願いできればと思います。よろしく願いいたします。

【松野職務代理】

今のご意見に続きまして、他に関連するご意見はございませんでしょうか。

公表に関しては、校長の判断に委ねられる部分があり、これは非常に難しい問題だと理

解しています。基本的に個々の児童生徒に返す結果が多くあり、どこができていないのか、どのように改善していくべきかを返すことになっています。

しかし、学校全体としての正答率を公表することが学校全体の励みに繋がるかどうかは別の問題で、これには慎重な検討が必要です。

正答率は毎年度異なる生徒たちが受けるため、年によって変わる可能性があります。最も有用な運用方法としては、学力調査が4月に行われることを考慮し、特に中学3年生については夏休み前に自分の実力を知り、何をすべきかを具体的に把握しながら学習を進めること、そして先生方がこの結果を基に次のステップでどこに重点を置くべきかを検証するという形が考えられます。

今後、公表については校長の判断次第で可能な部分もありますし、自分の学校の児童・生徒にとってプラスになると校長が判断すれば、公表するのではないかと思います。こうした判断には様々なやりとりがあるのではないかと考えています。

#### 【古賀委員】

それを踏まえて、小学校と進学先の中学校の先生が結果を共有し、「この部分が不足しているので力を入れたい」といったような、成果を元にしてお互いに改善の方向で話し合う機会は設けられているのでしょうか。もちろん、すでにそのような機会を持っている学校もあるかもしれませんが、正式な形でそうした機会が設けられているのでしょうか。

#### 【木下学校教育課長】

全ての学校で確実に行われているかどうかは把握できていませんが、古賀委員が仰ったように、学年ごとの特徴、例えば国語や算数の図形分野が苦手といった全体的な傾向は、引き継ぎにおいて非常に重要です。そのため、学校間での情報共有や引き継ぎの視点から、しっかり対応していきたいと思います。

私自身の経験で恐縮ですが、例えば黒島のような地域では、9年間を通じて一貫しており、教科別・領域別に独自で実施した学力調査結果を全て引き継ぐ取り組みをしています。

また、小中一貫校や小中一貫型教育を行っている学校では、学年をまたいだ引き継ぎについても、しっかりと分析された結果を共有していると理解しています。

#### 【古賀委員】

学力調査やその公表については、誰がその結果を知り、どのように前向きな行動に結び付けるかなど過程も大切ですが、公表内容にあるような「学習意欲」や「ICT活用」の項目に対し、特に「授業改善」が最初に来ている点に注目しました。

これによって、学力調査は子どもたちのためであるだけでなく、先生たちが授業をどのように改善できるかを考える良い機会にもなるのだと感じました。こうした気付きの共有や改善に向けた時間が増えると良いと思いました。

【木下学校教育課長】

大変貴重なご意見をありがとうございます。

今回、学校が文章として公表する視点を新たに明確に打ち出しました。

佐世保市では、昨年度の公表している視点として、授業改善の中で「主体的・対話的で深い学び」のような、今の学習指導要領で求められている力を視点としています。各学校は各学校独自の項目を文章で公表しておりましたが、今年度からは、各学校においても、文章で公表する視点を明確に示すようにしました。また、佐世保市として今後特に力を入れたいのは、授業改善です。授業改善の結果をしっかりと全教職員で受け止め、改善を進めるためのきっかけとして学力調査の結果を大切に活用したいと考えています。

【中村委員】

この公表をどこまでするかということについてですが、まず、各学校の校長先生は他校の部分まで含めてすべて報告を受けてらっしゃるとのことですが、各先生方はどこまで知らされているのでしょうか。

【木下学校教育課長】

いわゆる教職員につきましては、自校の分をすべて把握できます。

また、一般の教職員については他校の分は把握していない状況です。

【中村委員】

では校長と教頭までの管理職の方は知っていらっしゃるということでしょうか。

【木下学校教育課長】

基本的には校長から教頭・副校長にその情報は知らされています。

【中村委員】

では、管理職までは知らせますが、一般の教職員の方には知らせないということがルールになっているのでしょうか。

【木下学校教育課長】

基本的に、他校と比較することが目的ではなく、自分の学校が佐世保市の平均、長崎県の平均、または全国平均と比べてどこが良くできていないのか、またはどこが良くできているのかを参考にするためのものです。どの学校と比べてどのような状況かという視点は、分析には含まれていないと捉えています。

学校間での比較が行われると、過度な競争が生じる可能性があり、教育上の観点からも配慮が必要です。そのため、主に比較するべきは全国や県の全体的なデータです。これによって、どの分野にもっと力を入れるべきか、または校内研修で力を入れた結果として良い成果が出たかどうかを把握するための参考資料と考えています。

【中村委員】

各学校の一般の教職員の方も自校の結果をすべて把握しており、県の平均や全国平均と比較することはできる。そして配慮の必要性を鑑みて、市内の学校すべての情報は、校長等にとどめてあるという理解でよろしいでしょうか。

【木下学校教育課長】

そのお考えで間違いございません。

【中村委員】

承知しました。県の平均や全国の平均と比較するということで、目的は果たせるのかなと思いますので、ぜひ、せっかくの調査が有効に生かされるようにしていただけたらと思います。よろしく願いいたします。

【松野職務代理】

他にご意見等ございませんでしょうか。

【西沢委員】

先ほどの古賀委員や中村委員の質問とも関連しますが、特に中学生の結果を県内の高校と共有することはあるのでしょうか。義務教育が終わった後にどのような進路を選ぶかわからないものの、県内の高校に進学する子どもが多いと思います。このため、中学校3年生の4月時点の学力データを高校や県教育委員会と共有する取り組みはあるのでしょうか。

また、もう一つの質問として、市教育委員会が市全体の傾向を把握し、例えば国語や数学の特定の単元が弱いといった場合に、市独自で問題を作成し配布するなどの対策を行っているのかどうかについてもお聞きしたいです。

【木下学校教育課長】

高校への結果共有についてですが、全国学力調査の結果を内申点に含めたり、高校が直接利用することはありません。公平性を保つ必要があり、実施時期が4月ということもありますし、生徒たちがその後努力を続ける余地があるからです。

この調査は、学習指導要領に基づき今の時代が求める教育に沿った問題作成がなされています。

一方で、高校のいわゆる選抜試験も、思考力を問う問題があったり、よく全国学力調査の問題である「場面設定」と言われるものですが、実際の場面を想定し物語のようになっている、その中から必要な情報を取り出して、問題解決していくといったようなものが取り入れられており、方向性としては近づいていると感じています。

それでも、全国学力調査の内容や結果を高校選抜試験の調査に反映しないという方針です。

2つ目についてですが、市の全体分析を基に苦手な単元に対し問題を作成するという方法も考えられますが、過去問を使うことが一時期過熱したという全国的な傾向もあります。単に過去問を解くトレーニングではなく、普段の授業で求められる力をどのように育むかが重要です。

例えば、グループ活動での調査や発表といった実際の授業の中での取り組みが大切です。

もし教育委員会が問題を作成した場合、それが単なるトレーニングに偏る可能性があります。だからこそ、根本的な授業改善や、KPIに設定しております「勉強が好き」という感覚を育て、最終的に学力向上へと繋がるのが理想的と考えています。説明が十分でなかったら申し訳ありませんが、そのように捉えています。

#### 【西沢委員】

ありがとうございます。

1つ目の高校との情報共有に関してですが、内申点などを懸念していたわけではなく、高校の先生から、生徒に対して中学の基礎的な部分での不足を感じるという話を聞いたので、こうした現段階の中学3年生の傾向や、高校に上がった子たちの弱点を共有できれば、足りない部分を確実に補うことができるのではないかと思ったもので、個人を特定するであったりこの地域がどうということではなく、全体的な傾向として共有ができればいいなと思った背景があり、聞かせていただきました。

2つ目について、勉強が好きであることや思考力、自考する力は年月をかけて育てていくものだと思最近思うことが増えました。

しかし、佐世保市で学力が低下している中で、例えば先生方の授業改善であったり子どもたちの学習意欲を育てることには時間がかかるとなれば、タイムラグが生じてしまうため、どこかで学力そのものを上げていくことに対してのメスも入れていかなければならないと思っています。

市としてや教育委員会として、主体的で対話的で深い学びであったり、ウェルビーイングみたいなところはもちろん、絶対に取り組まなければなりませんし、素敵な施策だと思うのですが、一方で喫緊の課題としての学力向上に対する具体的な取り組みも重要であると考えています。

公表にあたっては何を重点的に取り組むべきか密に話し合い、各学校や保護者に対してしっかりと示していった方が良かったので、聞かせていただきました。

また、いただいた説明に関してははすごく納得いたしましたし理解できました。ありがとうございました。

#### 【木下学校教育課長】

主体的で対話的な学びや子どもたちの自主性を育てることは重要ですが、教師主導型の知識習得やトレーニング的な取り組みも否定しているわけではありません。繰り返しの学習やトレーニングは一定の必要性があると思いますが、学力向上に目を向けるあまり、その部分だけに偏りすぎてしまうことには注意が必要だと考えています。

子どもたちが主体的に学び、子ども同士でしっかりと話し合う場面も重要です。学校訪問や授業観察の際には、トレーニング的な部分が多く見受けられ、先生が説明を続け、子どもたちが聞き手に徹しているシーンが多々あります。授業の中で、先生の声はよく聞こえるけれども、子どもの声が少ないという状況もありました。もちろん、参観した時間がたまたまそういう場面だった可能性もありますが、子どもの声をもっと聞く機会を増やし、自分の意見をしっかりと表現できるような場を作ることが重要だと考えています。

そういったところがやはり課題なのではないかと捉えておりますので、バランスの問題かとは思いますが、こちらの方もしっかりと大切にしていきたいと考えております。

【西沢委員】

ありがとうございました。

【松野職務代理】

他にございませんか。

【鳩山学校教育部長】

いずれの教科においても、全国と本市の正答率に一問分の差はないことから、本市において、それぞれがあと一問正解すれば全国平均を超える状況ではあります。しかしながらその一問を回答できることを目的に、教え込む授業になってしまうことは、授業改善の観点からも避けるべきだと思っています。

授業改善を図りながら、今求められている資質能力を上げることに特化しつつ、学力を上げていきたいということが、正直なところであります。

先ほど問題を提示してというようなご質問もあったのですが、毎年落ち込んでいる問題を中心に、校長会の方にはその問題を提示して、この一問を解けるようになるために、どのような授業が必要であるかということを考えさせるとともに、私どもの方から、こうあるべきという授業改善のプランをお示しさせていただいているところであります。

今後、一層の改善を図っていきたいと思っております。

【松野職務代理】

佐世保市全体や各学校において、調査結果を分析し、今後の指導重点内容も含めて公表することで、今後の方針を示し、それに基づいて各教科の進め方や取り組み内容を方向付けていく考えが提示されました。

主体的に学習する態度の育成や確かな学力の定着は非常に重要であり、学校全体や教育委員会が一丸となって全国学力調査の結果を有効活用し、学力定着に繋げることができればと考えています。

様々なご意見をいただきありがとうございました。他に特にご意見や質問がないようであれば、この件につきましては承認するというところでよろしいでしょうか。

【全教育委員】

はい。

【松野職務代理】

続きまして、協議事項はなしとなっておりますので、報告事項に入りたいと思います。

報告事項①「令和7年度佐世保市少年の主張大会について」に入ります。事務局より説明をお願いします。

## （6）令和7年度佐世保市少年の主張大会について

【田村社会教育課長】

報告資料P1～P2により説明

【松野職務代理】

ご説明ありがとうございます。

佐世保市少年の主張大会のご案内ということですので、ご都合がつかれる場合には、ご出席いただければと思います。よろしく願いいたします。

続きまして、報告事項②「令和7年度佐世保市中学校体育大会の結果について」に入ります。事務局より説明をお願いします。

## （7）令和7年度佐世保市中学校体育大会の結果について

【藤川学校保健課長】

報告資料P3～P4により説明

【松野職務代理】

ご説明ありがとうございました。

皆様方から何かご質問ご意見等ございませんでしょうか。

【全教育委員】

ありません。

【松野職務代理】

私から1点お願いいたします。

今年初めて分散開催された中学校体育大会について、これまでとは違った点がいくつかあったと思います。大会終了後、各競技や学校からさまざまな反省点や意見が出されたのではないかと思います。

具体的にどのような反省点や意見があったのか、いくつか紹介していただけると助かります。

【藤川学校保健課長】

現在各学校で、反省等を行っております。7月1日の合同会にて、集約されますので、今のところは把握ができておりません。

【松野職務代理】

ありがとうございます。

結果が出ましたら、参考までに中身をご紹介いただけますでしょうか。よろしくお願いいたします。

皆様から他にご質問等はございませんでしょうか。

【全教育委員】

ありません。

その後、次回開催予定日を確認し、終了となった。

- - - 了 - - -